

神奈川県立湘南養護学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	令和2年度 神奈川県立湘南養護学校 第3回 学校運営協議会		
開催期日	令和3年3月10日（水）～18日（木）		
開催場所	動画配信会議開催		
出席者	委員 8名		
議題	<ul style="list-style-type: none"> ○動画配信による教育活動紹介 ○第3回学校評価部会（今年度年間評価報告） ○切れ目ない支援部会報告 ○年間評価等に係る協議と承認 		
問合せ先	神奈川県立湘南養護学校 副校長 樋笠 晴美 TEL 0463-34-7244 FAX 0463-34-8707		
下欄に掲載するもの	議事録	議事概要とした理由	
審議（会議）経過	<p>(1) はじめに</p> <p>(2) 校長あいさつ</p> <p>(3) 第2回学校評価部会 年間評価等に係る協議と承認作業</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 動画配信による教育活動紹介 ○ 切れ目ない支援部会報告 ○ 学校評価について <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍による対策を講じながら通常の活動を行えない不便さはあったかと思うが、やれることを実施されていることがわかった。 ・高等部3年生の修学旅行も行き先を変更されるなか実施されたことは、卒業生にとっても良い思い出になったと思う。 ・学習活動を参観できる機会がなかったが、動画をみて多少なりとも教育活動がわかった。 ・当たり前の日常が当たり前でない、コロナ禍という大変な状況の中、色々な工夫をとりいれていただき、子どもたちが大きな混乱もなく学校生活を怒れたことに感謝する。 ・地域との連携も制約のある中、いろいろな取組がされていて感激した。 ・今後もこのような配信の形を想定するのであれば、日常的な記録が必要だと思った。 ・保護者の方もコロナ禍の学校の取組を評価されていることがわかった。 ・4年間の目標の中にはコロナで達成が難しい事項や変更を余儀なくされることもあると思う。状況に応じて柔軟な対応を行えば良い。企業も中期計画 		

と称して3年間の事業計画を立てるが、不透明な時代なのでなかなかうまく計画どおりにはいかないことが多々ある。

・公開研修会「コミュニケーションツールの活用」は湘南養護ブランドステーションとしての発信すべき取り組みだと思った。オンライン研修で実現されたことは熱意によるものと敬意を表したい。オンライン形式の研修会は通号の良い時間に繰り返し視聴ができるメリットがある。公開する期間はまだもう少し長くて良い。または常時視聴できる形でもよいのではないか。

・40周年記念作品展はコロナ禍の中ではあったが、複数のメディアに取り上げられて注目された。

・アカウントで会員限定ページに入る手続きは難しさを感じた。

・教育課程の編成はよくまとまっている。その中で目標・計画への達成状況が具体的に数字等で明確に出来ればよい。

・危機管理意識の高揚、生徒の理解力の向上、安全管理の徹底等に努め、事前防止の危機管理に万全を期す必要がある。危機に対処する心構えの共通理解を深め、具体的な対処と役割分担を明確にするべきである。

学校、教職員、保護者、自治会、住民と意識に大きな理解不足が生じ議論不足の結論が中心に据えられるのではなく、生徒指導の方向性を明確にする必要があるのではないか。

・通信環境がある程度整っている中で、今回のオンラインでの運営協議会開催にもICTが活用されていることは、中学校としても大いに参考にさせていただきたい。

【承認】 年間評価について承認された